

2025 年 10 月 21 日

大阪科学・大学記者クラブ加盟各社 各位
西宮市政記者クラブ加盟各社 各位
京都大学記者クラブ加盟各社 各位

幹事校 立命館大学

関西四大学「薬物に関する意識調査」報告書について

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、関西四大学（関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学）では、健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、安心・安全な社会を実現することが大学の責務と考え、2009 年 3 月 7 日に薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。

その具体策として、四大学は共同のアクションプランを企画し、「委員会の設置・開催」、「教育・調査活動」、「広報活動」の 3 つを柱として、各大学で様々な取り組みを実施して参りました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催しました。こうした活動の一環として、毎年、四大学共同で新入生を対象として「薬物に関する意識調査」を実施し、昨今の学生が薬物についてどのような考えを持っているかなどについてアンケート調査を行い、その結果をとりまとめています。

このたび送付する報告書は、四大学の 2025 年度新入生 27,895 名を対象に 2025 年 4 月～5 月の期間に実施した「薬物に関する意識調査」の集計結果です。今年度は 24,023 名（回答率 86.1% の回答を収集いたしました。この調査結果から学生の薬物に対する意識と態度を明らかにし、更なる薬物乱用防止策の企画立案に繋げるだけでなく、他の教育機関や行政機関の諸活動に寄与し、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

また、今年度も学生と共に取り組む啓発活動として、「啓発ポスター」を作成いたしました。立命館大学の文化系公認団体「美術研究部」が学生目線で内容やデザインを考案・制作し、関西四大学の本部のある京都府・大阪府・兵庫県の行政機関からも後援を頂き、各大学内や行政機関等とも連携した広報を展開しています。

今後も関西四大学は、この結果を基に薬物乱用防止策を企画・立案し、引き続き薬物に関する教育・啓発活動を展開していく所存です。

敬具

<本件に関する問い合わせ先>

■四大学全体の取り組みに関すること
立命館大学広報課 電話 075 813 8300

■各大学独自の取り組みに関すること

大 学	関西大学広報課	関西学院広報部	同志社大学広報課	立命館大学広報課
電話番号	06-6368-0201	0798-54-6017	075-251-3120	075-813-8300

以上

**2025年度 関西四大学
「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書**

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の1つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で17年目を迎えます。

現在の日本における薬物乱用に関する社会情勢について、警察庁組織犯罪対策部発表の「令和6年における組織犯罪の情勢（第4章：薬物・銃器情勢）」によると、薬物事犯の検挙人員は、近年横ばいで推移し、令和4年に減少傾向がみられたところ、令和6年は1万3,462人（前年比+132人）と前年より僅かに増加し、大麻事犯の検挙人員は、平成26年以降増加傾向が続いていたところ、令和6年は 6,078人（前年比-404人）と過去最多の前年より減少したものの引き続き高水準となっています。また、29歳以下の検挙者数が全体の73.7%を占め、また、20歳未満の検挙者数は1,128人となり、2019年（令和元年）の609人から5年間で倍増しています。これらのデータから見ても、引き続き若年層への薬物乱用防止の啓発活動が重要であることは明白です。

大麻販売の組織化・巧妙化が進み、例えばSNS上では絵文字や隠語を使って大麻や大麻成分入り薬物や食品などを売買するWebサイトが現れるなど、販売ルートは多様化しており、大麻や危険ドラッグ等を入手することが容易になっています。また、昨今では市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）が問題になるなど、若年層の薬物乱用問題に関する動向について引き続き注視する必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、啓発しながらも学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

今回も、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果も反映させるべく、関西四大学の入学直後の新入生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新入生が大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接している一方で、引き続き、ごく少数であるが薬物に接触する危険性がこれまで同様に存在していることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関や行政機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2025年10月

関西大学学長	高橋 智幸
関西学院大学学長	森 康俊
同志社大学学長	小原 克博
立命館大学学長	仲谷 善雄

I 調査対象

対象者数 : 2025年度入学生 27,895名(関西四大学合計人数)
実施期間 : 各大学により定められた期間(2025年4～5月)
調査方法 : WEBアンケート
回答数(率) : 24,023 名(86.1%)

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

主な回答の集計結果について

◇質問1 あなたは、薬物乱用問題について危機感や不安を感じていますか？(1つ選択)

＜回答＞	2025年度	参考値
非常に感じている	32.8%	2024年度との比較+27.3 ポイント
ある程度感じている	35.6%	2024年度との比較+4.9 ポイント
どちらともいえない	12.0%	2024年度との比較-15.4 ポイント
あまり感じていない	9.1%	2024年度との比較-6.0 ポイント
ほとんど感じていない	10.4%	2024年度との比較-10.8 ポイント

前回調査までは薬物乱用問題について「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」を合わせて36%程度だったことに対して、今調査からは危機感や不安を「非常に感じている」「ある程度感じている」を合わせて68%程度と、高い傾向がうかがえた。

◇質問2 あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

＜回答＞	2025年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	73.0%	2024年度との比較-1.5 ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	86.5%	2024年度との比較+1.7 ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	92.6%	2024年度との比較+1.4 ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	81.9%	2024年度との比較+2.5 ポイント
あへん類(ヘロインなど)	60.2%	2024年度との比較+1.8 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	20.2%	2024年度との比較-0.6 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	55.0%	2024年度との比較-1.2 ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	56.5%	2024年度との比較+0.3 ポイント
大麻入り食品(大麻グミなど)	64.0%	2024年度との比較+0.4 ポイント
知っているものはない	3.4%	2024年度との比較-1.0 ポイント

依然としてほとんどの薬物名について過半数の学生が認知している。前年度より「大麻入り食品(大麻グミなど)」の回答を新設したが、前年度より0.4ポイント増加している。

◇質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

＜回答＞	2025年度	参考値
どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	91.3%	2024年度との比較+2.2 ポイント
1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	1.0%	2024年度との比較+0.0 ポイント
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	6.6%	2024年度との比較-1.5 ポイント

前年度同様「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」という回答が最も多かったが、「1回位ならかまわない」「使うかどうかは個人の自由」と考えている学生も依然として一定数存在している。

◇質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

＜回答＞	2025年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	94.1%	2024年度との比較+1.1 ポイント
購入を勧められたことがある	0.5%	2024年度との比較+0.0 ポイント
使用を誘われたことがある	0.9%	2024年度との比較-0.2 ポイント
無理やり使わされたことがある	0.2%	2024年度との比較0.0 ポイント
わからない	4.3%	2024年度との比較-0.9 ポイント

「誘われたり、勧められたことはない」という回答が最も多く、前年度より1.1ポイント増加しているが、「購入を勧められた」「使用を誘われた」「無理やり使わされた」と回答した学生も少数ながら存在している。

◇質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

＜回答＞	2025年度	参考値
いない	89.4%	2024年度との比較+0.6 ポイント
いる(いた)	3.3%	2024年度との比較+0.1 ポイント
わからない	7.2%	2024年度との比較-0.7 ポイント

「いない」という回答が最も多いが、「いる(いた)」との回答が0.1ポイント増加しており、薬物の所持・使用の可能性が、学生の身近にあることをうかがわせる。

◇質問15(イ) 【質問15(ア)で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】
どの薬物でしたか。(複数選択可)

＜回答＞	2025年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	6.5%	2024年度との比較+0.6 ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	12.0%	2024年度との比較+0.0 ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	51.3%	2024年度との比較+0.8 ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	4.8%	2024年度との比較-1.6 ポイント
あへん類(ヘロインなど)	1.3%	2024年度との比較-0.4 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	3.0%	2024年度との比較-1.4 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	3.3%	2024年度との比較-1.7 ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	1.5%	2024年度との比較-2.8 ポイント
大麻入り食品(大麻グミなど)	5.4%	2024年度との比較-0.7 ポイント
わからない	33.3%	2024年度との比較+3.5 ポイント

所持もしくは使用している薬物について、前年と比較し全体的に減少しており、「わからない」という回答が増加している。

◇質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)

＜回答＞	2025年度	参考値
警察の相談窓口	38.5%	2024年度との比較+1.1 ポイント
行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	13.6%	2024年度との比較+0.1 ポイント
厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	8.5%	2024年度との比較-0.4 ポイント
医療機関の相談窓口	12.1%	2024年度との比較-0.3 ポイント
民間の支援団体の相談窓口	8.7%	2024年度との比較+0.1 ポイント
知らない	53.4%	2024年度との比較-0.2 ポイント

警察と並んで行政機関や医療機関が窓口として認知されている。また、「知らない」と回答した学生は減少しており、相談窓口が認知されはじめていると考えられる。

◇質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可)

＜回答＞	2025年度	参考値
薬物乱用による健康被害情報	63.2%	2024年度との比較+2.0 ポイント
薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	43.7%	2024年度との比較+2.9 ポイント
国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	16.4%	2024年度との比較+1.6 ポイント
医療機関や民間支援団体の取り組み情報	14.9%	2024年度との比較+1.3 ポイント
特になし	18.7%	2024年度との比較-2.1 ポイント

全体的に情報の取得ニーズは増加傾向にあり、昨年度同様「健康被害情報」や「事件・事故の事例情報」提供への関心が高い。「特になし」は-2.1ポイント減少した。

◇質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手することが可能ですか。(1つ選択)

＜回答＞	2025年度	参考値
不可能だ	80.2%	2024年度との比較+41.0 ポイント
かなり難しい	12.2%	2024年度との比較-11.0 ポイント
難しいが手に入る	5.8%	2024年度との比較-20.0 ポイント
手に入る	1.8%	2024年度との比較-10.0 ポイント

「不可能だ」という回答が大幅に向上し、「かなり難しい」を合わせると92%程度となった。反対に「難しいが手に入る」「手に入る」は合わせて30%程度減少しており、入手することが困難になっていることがうかがえる。

◇質問19(イ) 【質問19(ア)で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】入手可能と考えた理由はなんですか。(複数選択可)

＜回答＞	2025年度	参考値
SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	77.4%	2024年度との比較-3.2 ポイント
SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	14.8%	2024年度との比較+5.3 ポイント
友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	13.4%	2024年度との比較+5.7 ポイント
繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	18.3%	2024年度との比較-0.8 ポイント
それ以外	3.6%	2024年度との比較+0.2 ポイント

「SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから」、「友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから」、「それ以外」という回答が増加しており、一方「SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから」、「繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから」という回答は減少した。身近さや手軽さが薬物入手のハードルを下げている状況にある。

◇質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。(1つ選択)

＜回答＞	2025年度	参考値
知っている	71.2%	2024年度との比較+0.1 ポイント
知らなかった	28.8%	2024年度との比較-0.1 ポイント

危険ドラッグに対する罰則の認知度は前年とほぼ横ばいとなっており、引き続き危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要があると考える。

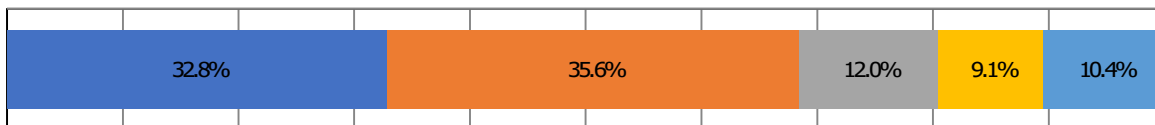
◇質問21 あなたは、「市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)」が社会問題になっていることを知っていますか。(1つ選択)「市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)」とは、市販薬(かぜ薬・解熱剤・鎮痛剤・睡眠薬など)を定められた用法・用量以上に服用する(過剰摂取すること)で、薬物への依存が高まるだけでなく、内臓機能障害や最悪の場合は心肺停止で死亡するケースもある、薬物乱用の一種です。

＜回答＞	2025年度	参考値
知っている	81.7%	2024年度との比較+3.2 ポイント
知らなかった	18.3%	2024年度との比較-3.2 ポイント

オーバードーズに対する認知度は全体的に高い傾向にあり、前年度から3.2ポイント増加している。引き続き認知度が高まるような取り組みが望まれる。

共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について危機感や不安を感じていますか？
(1つ選択)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

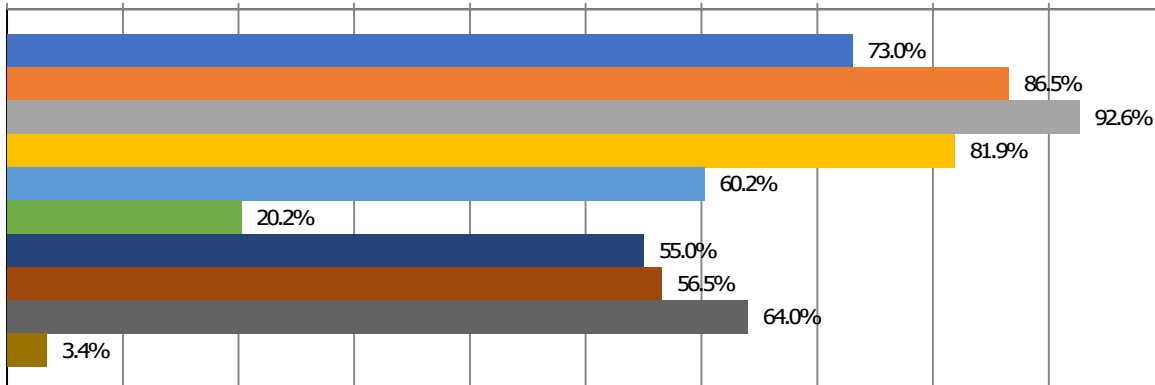


■非常に感じている ■ある程度感じている ■どちらともいえない ■あまり感じていない ■ほとんど感じていない

No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	非常に感じている	7,891	32.8%
2	ある程度感じている	8,547	35.6%
3	どちらともいえない	2,892	12.0%
4	あまり感じていない	2,186	9.1%
5	ほとんど感じていない	2,507	10.4%
6	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問2 あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。
(複数選択可)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

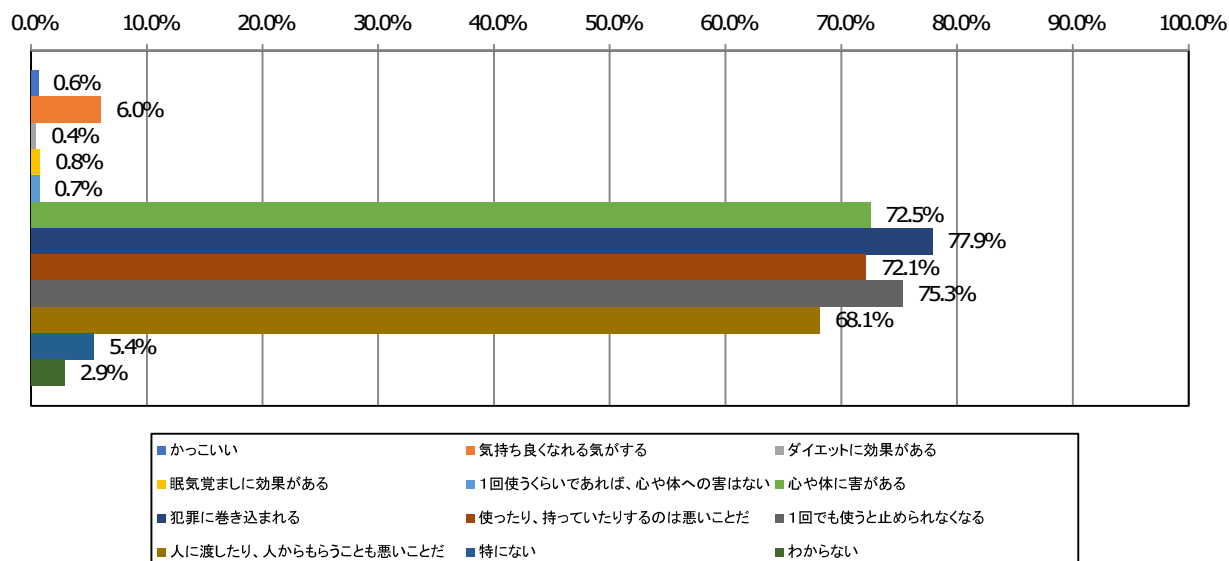


■有機溶剤(シンナー、トルエンなど) ■覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)
■大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシツシュなど) ■コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)
■あへん類(ヘロインなど) ■LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)
■MDMA(エクスタシーなど) ■いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)
■大麻入り食品(大麻グミなど) ■知っているものはない

No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	17,547	73.0%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	20,785	86.5%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシツシュなど)	22,255	92.6%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	19,668	81.9%
5	あへん類(ヘロインなど)	14,471	60.2%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	4,855	20.2%
7	MDMA(エクスタシーなど)	13,204	55.0%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	13,584	56.5%
9	大麻入り食品(大麻グミなど)	15,373	64.0%
10	知っているものはない	825	3.4%
	合計	24,023	

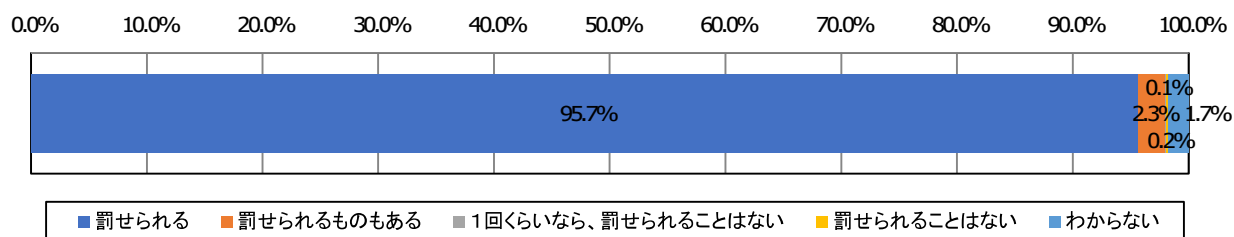
【前の質問であげた薬物についてお聞きします】

共通質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。
(複数選択可)



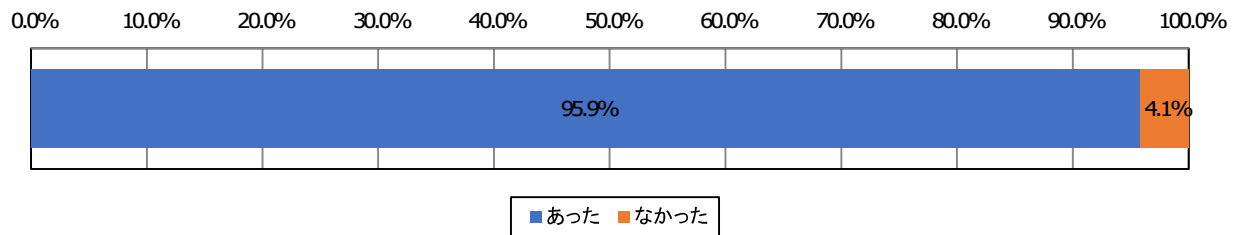
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	かっこいい	141	0.6%
2	気持ち良くなれる気がする	1,447	6.0%
3	ダイエットに効果がある	98	0.4%
4	眠気覚ましに効果がある	182	0.8%
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	164	0.7%
6	心や体に害がある	17,419	72.5%
7	犯罪に巻き込まれる	18,707	77.9%
8	使ったり、持っていたりするのはいきなことだ	17,329	72.1%
9	1回でも使うと止められなくなる	18,091	75.3%
10	人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ	16,371	68.1%
11	特にない	1,297	5.4%
12	わからない	695	2.9%
	合計	24,023	

共通質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなと思いますか。
(1つ選択)



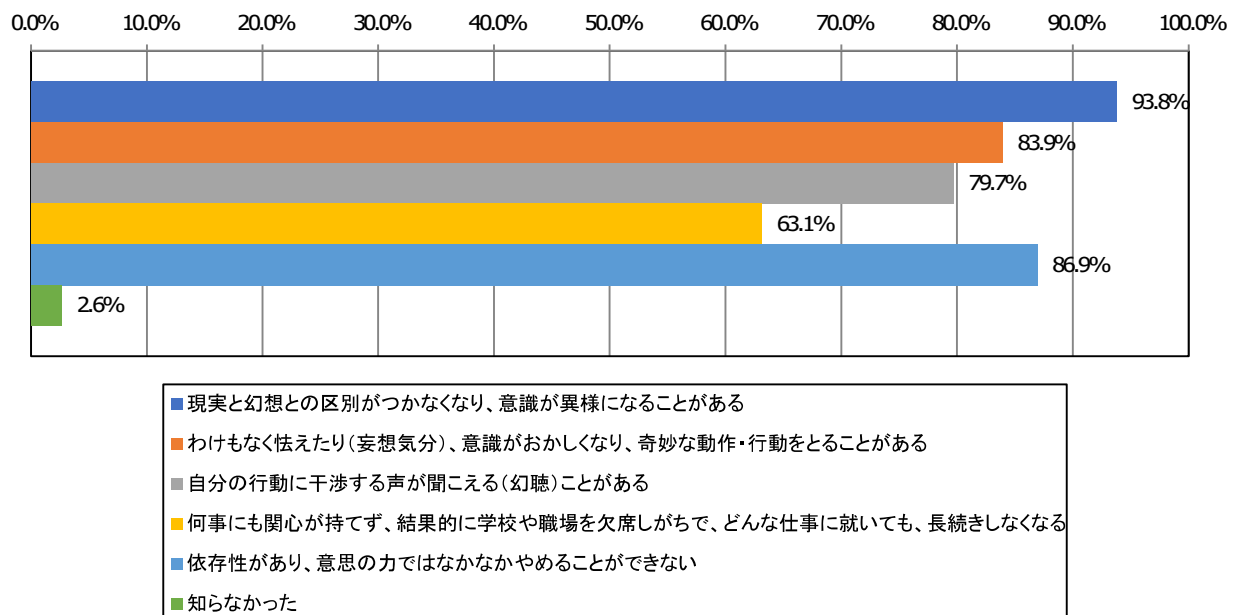
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	罰せられる	22,991	95.7%
2	罰せられるものもある	543	2.3%
3	1回くらいなら、罰せられることはない	26	0.1%
4	罰せられることはない	54	0.2%
5	わからない	409	1.7%
6	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。
(どちらかを選択)



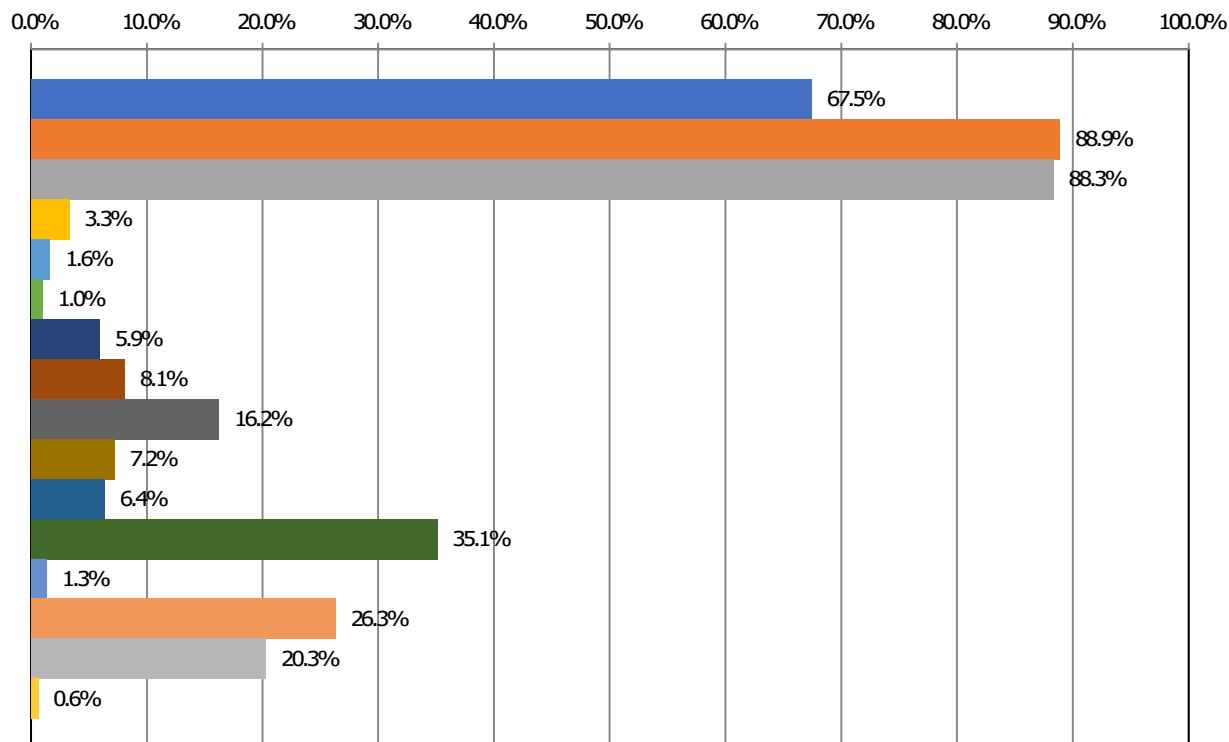
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	あった	23,035	95.9%
2	なかった	988	4.1%
3	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようにになることがあるのを知っていましたか。
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	22,527	93.8%
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	20,155	83.9%
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	19,140	79.7%
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	15,158	63.1%
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	20,881	86.9%
6	知らなかった	627	2.6%
	合計	24,023	

共通質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。
(複数選択可)

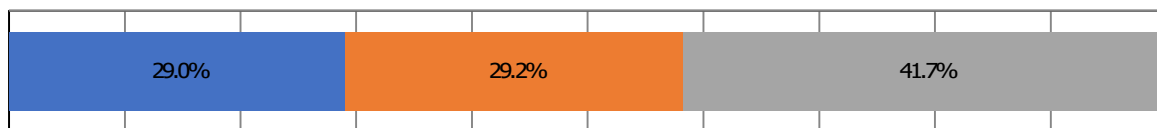


■ 小学校の授業	■ 中学校の授業	■ 高校の授業
■ 大学が配布しているリーフレット等	■ 大学での啓発ビデオ	■ 大学での講演会
■ 友達、仲間、先輩、後輩	■ 家族	■ ポスター、パンフレット
■ 本、雑誌	■ 新聞	■ テレビ
■ ラジオ	■ インターネット	■ SNS
■ その他		

No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	小学校の授業	16,204	67.5%
2	中学校の授業	21,355	88.9%
3	高校の授業	21,218	88.3%
4	大学が配布しているリーフレット等	790	3.3%
5	大学での啓発ビデオ	391	1.6%
6	大学での講演会	233	1.0%
7	友達、仲間、先輩、後輩	1,418	5.9%
8	家族	1,938	8.1%
9	ポスター、パンフレット	3,894	16.2%
10	本、雑誌	1,729	7.2%
11	新聞	1,528	6.4%
12	テレビ	8,432	35.1%
13	ラジオ	321	1.3%
14	インターネット	6,316	26.3%
15	SNS	4,874	20.3%
16	その他	147	0.6%
	合計	24,023	

共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。
(1つ選択)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

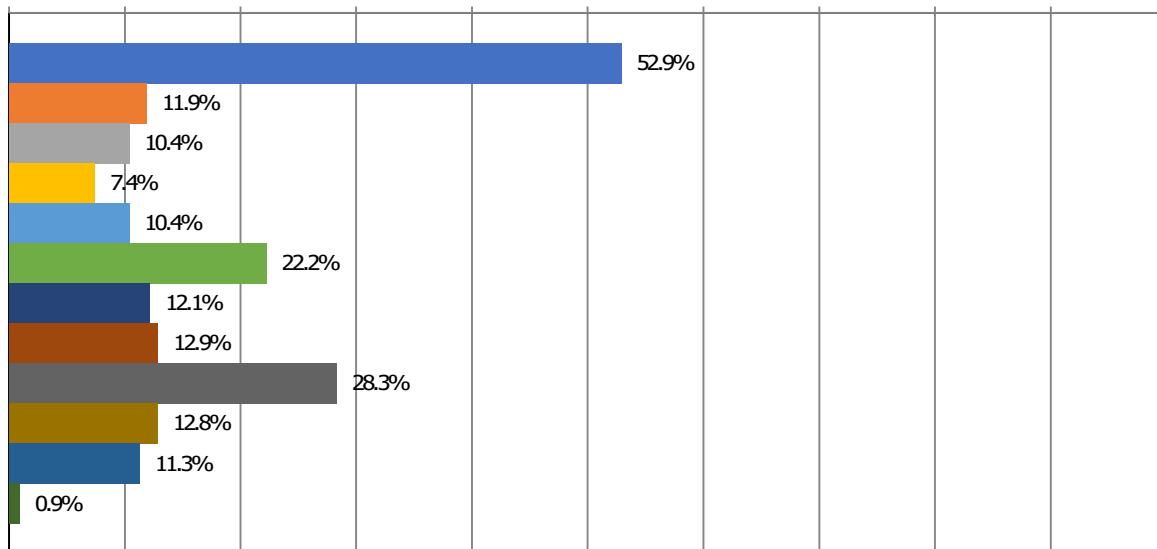


■ 知りたい ■ 知りたいとは思わない ■ どちらでもない

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知りたい	6,976	29.0%
2	知りたいとは思わない	7,018	29.2%
3	どちらでもない	10,029	41.7%
4	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこが良いと思いますか。
(複数選択可)

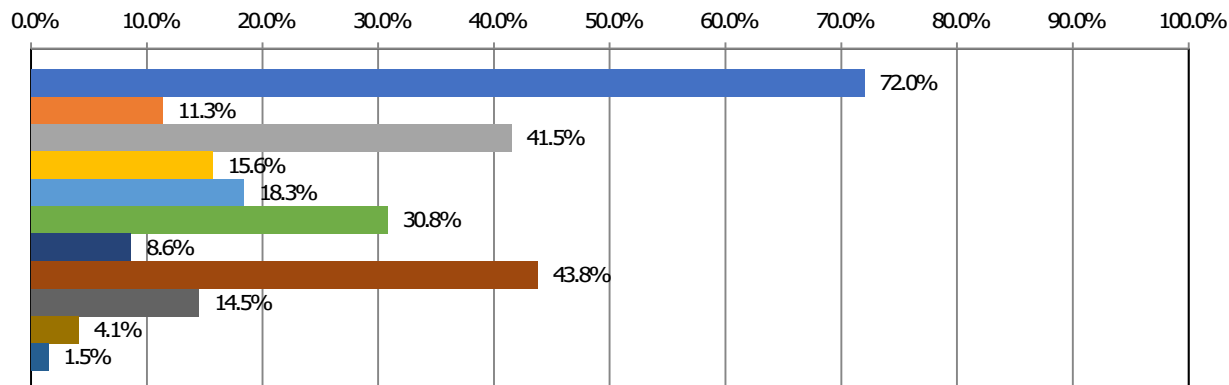
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%



■ 大学(講演会、ビデオ、リーフレット) ■ 家庭 ■ 地域活動、自治体等の広報誌
 ■ 図書館、公民館 ■ 保健所 ■ 警察
 ■ 厚生労働省麻薬取締部 ■ 病院 ■ インターネット
 ■ 講演会、座談会 ■ 特にない ■ その他

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	12,703	52.9%
2	家庭	2,856	11.9%
3	地域活動、自治体等の広報誌	2,489	10.4%
4	図書館、公民館	1,776	7.4%
5	保健所	2,490	10.4%
6	警察	5,338	22.2%
7	厚生労働省麻薬取締部	2,918	12.1%
8	病院	3,087	12.9%
9	インターネット	6,790	28.3%
10	講演会、座談会	3,077	12.8%
11	特にない	2,707	11.3%
12	その他	221	0.9%
	合計	24,023	

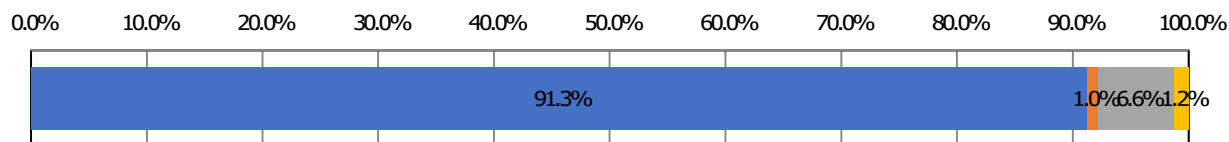
共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。
(複数選択可)



- 薬物が簡単に手に入るようになってきているから
- 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている
- 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない
- 簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い
- 薬物の害について学ぶことが少ない
- 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる
- 学校や家庭がおもしろくない
- わからない
- その他

No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	薬物が簡単に手に入るようになってきているから	17,291	72.0%
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	2,720	11.3%
3	SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	9,964	41.5%
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	3,756	15.6%
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	4,406	18.3%
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	7,402	30.8%
7	薬物の害について学ぶことが少ない	2,069	8.6%
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	10,511	43.8%
9	学校や家庭がおもしろくない	3,479	14.5%
10	わからない	986	4.1%
11	その他	355	1.5%
	合計	24,023	

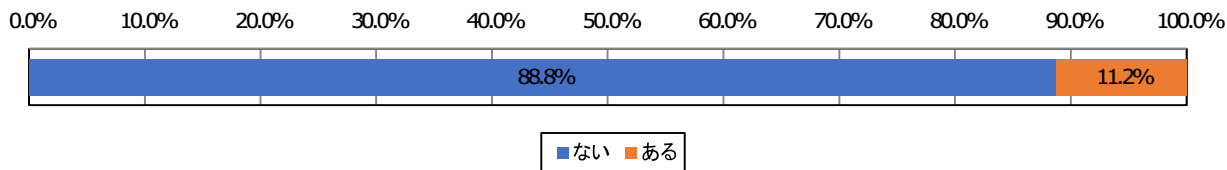
共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。
(1つ選択)



- どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない
- 他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である
- その他

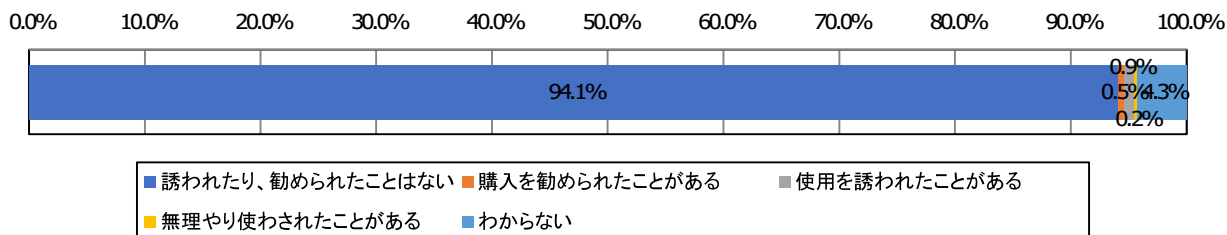
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	21,921	91.3%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	233	1.0%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1,575	6.6%
4	その他	294	1.2%
5	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。
 <テレビ、映画、インターネット、報道等で見たものは除きます> (どちらかを選択)



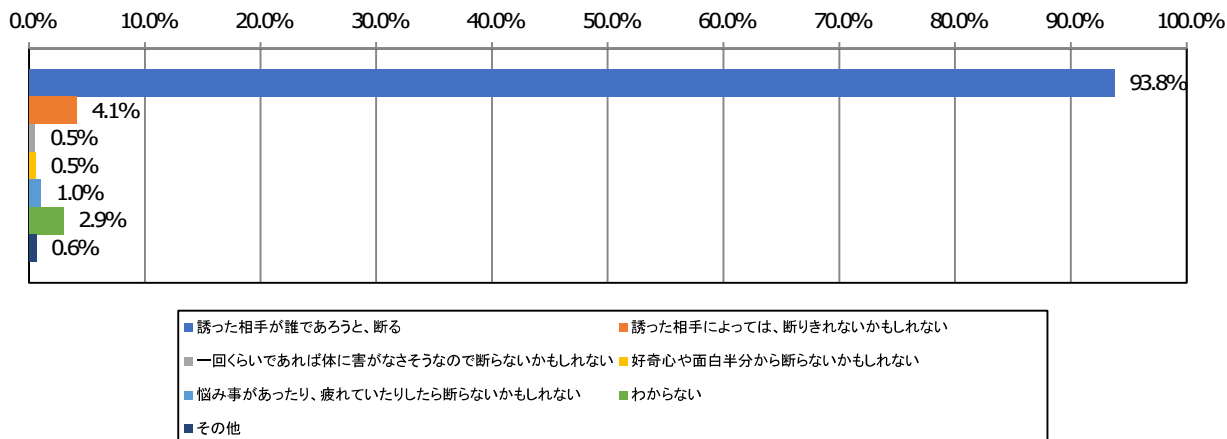
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	ない	21,326	88.8%
2	ある	2,697	11.2%
3	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。
 (1つ選択)



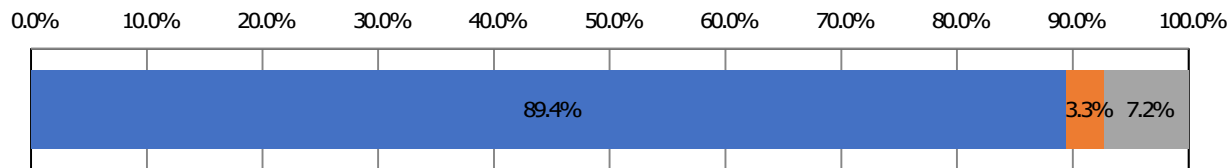
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	誘われたり、勧められたことはない	22,616	94.1%
2	購入を勧められたことがある	118	0.5%
3	使用を誘われたことがある	211	0.9%
4	無理やり使われたことがある	52	0.2%
5	わからない	1,026	4.3%
6	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。
 (複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	誘った相手が誰であろうと、断る	22,523	93.8%
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	986	4.1%
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	120	0.5%
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	130	0.5%
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	241	1.0%
6	わからない	707	2.9%
7	その他	145	0.6%
	合計	24,023	

共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。
(1つ選択)

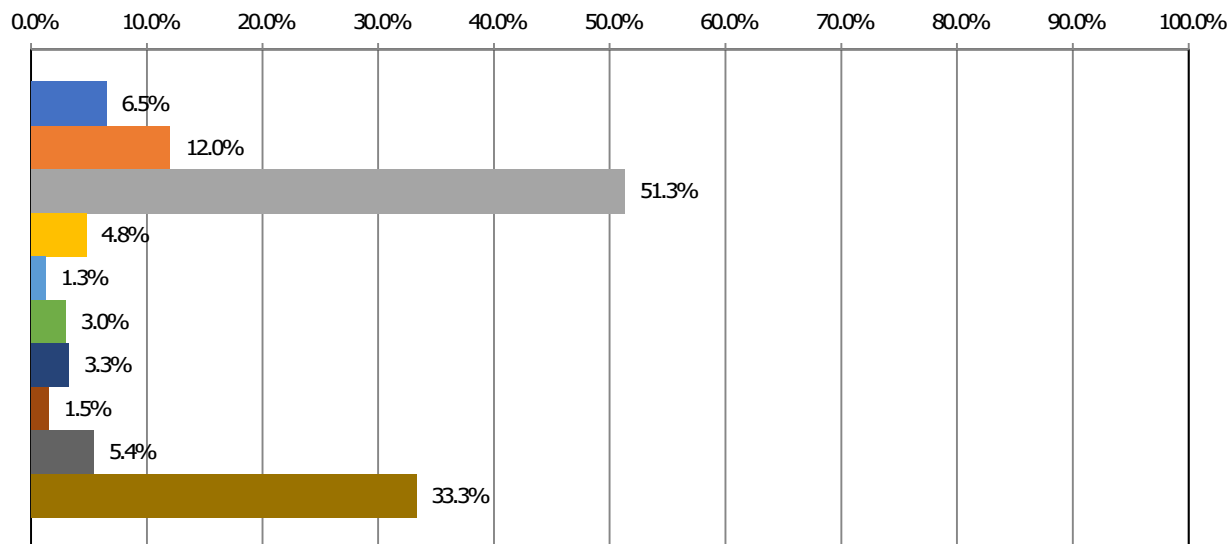


■ いない ■ いる(いた) ■ わからない

No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	いない	21,482	89.4%
2	いる(いた)	800	3.3%
3	わからない	1,741	7.2%
4	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

【前の質問で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】

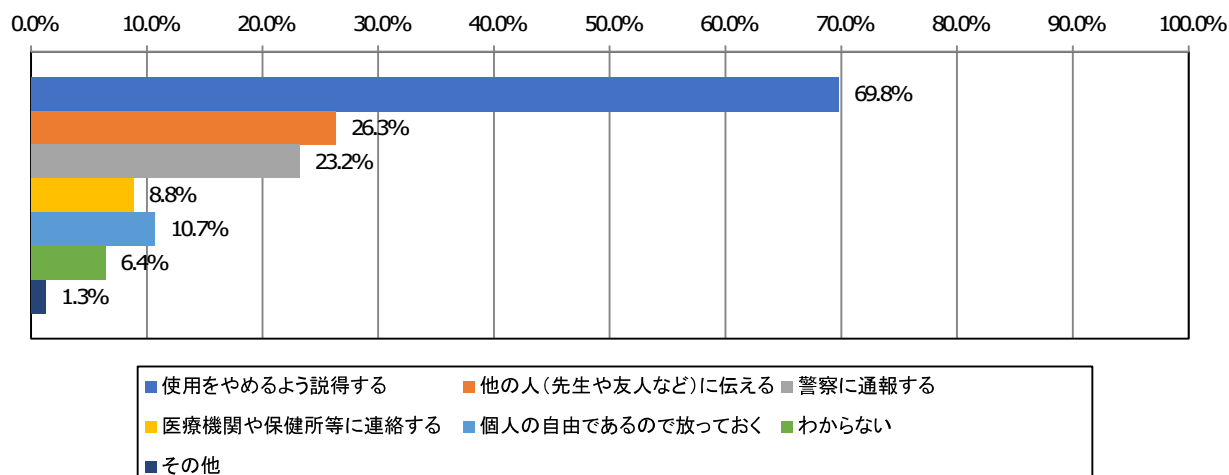
共通質問15(イ) どの薬物でしたか。
(複数選択可)



■ 有機溶剤(シンナー、トルエンなど) ■ 覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)
 ■ 大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど) ■ コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)
 ■ あへん類(ヘロインなど) ■ LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)
 ■ MDMA(エクスタシーなど) ■ いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)
 ■ 大麻入り食品(大麻グミなど) ■ わからない

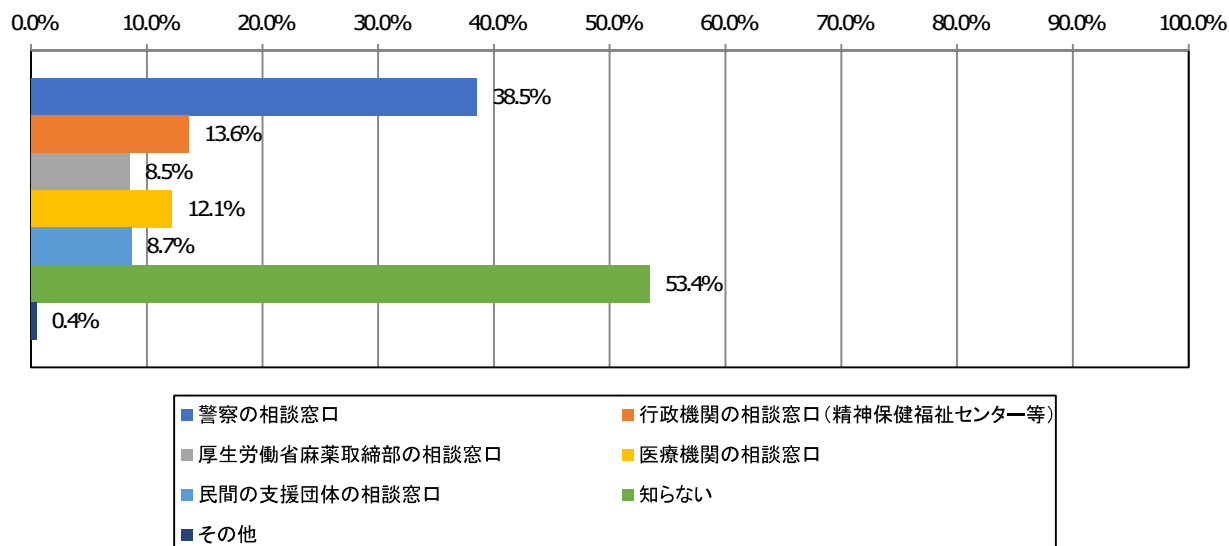
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	52	6.5%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	96	12.0%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	410	51.3%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	38	4.8%
5	あへん類(ヘロインなど)	10	1.3%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	24	3.0%
7	MDMA(エクスタシーなど)	26	3.3%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	12	1.5%
9	大麻入り食品(大麻グミなど)	43	5.4%
10	わからない	266	33.3%
	合計	800	

共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。
(複数選択可)



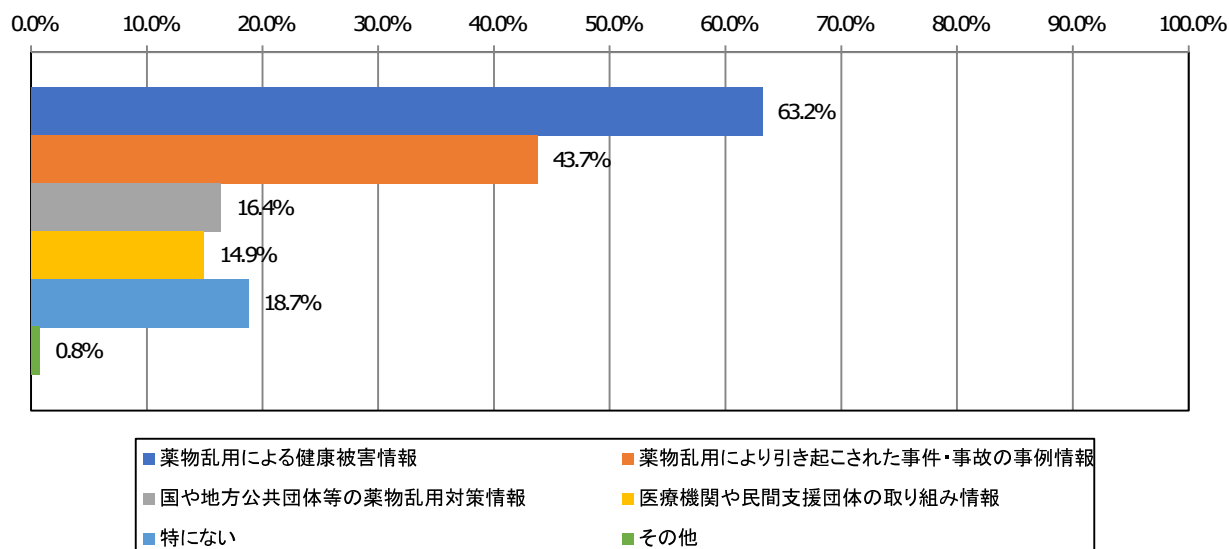
No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	使用をやめるよう説得する	16,766	69.8%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	6,325	26.3%
3	警察に通報する	5,567	23.2%
4	医療機関や保健所等に連絡する	2,124	8.8%
5	個人の自由であるので放っておく	2,568	10.7%
6	わからない	1,543	6.4%
7	その他	302	1.3%
	合計	24,023	

共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。
(複数選択可)



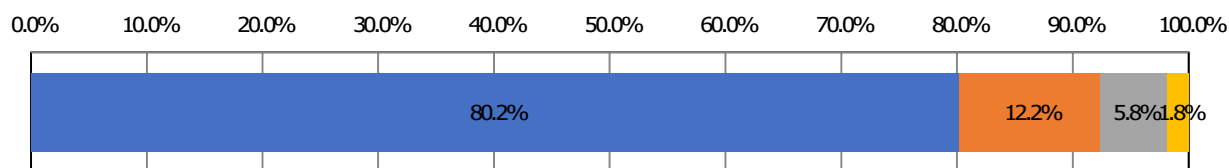
No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	警察の相談窓口	9,257	38.5%
2	行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	3,268	13.6%
3	厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	2,048	8.5%
4	医療機関の相談窓口	2,911	12.1%
5	民間の支援団体の相談窓口	2,079	8.7%
6	知らない	12,831	53.4%
7	その他	105	0.4%
	合計	24,023	

共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	薬物乱用による健康被害情報	15,179	63.2%
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	10,509	43.7%
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	3,935	16.4%
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	3,583	14.9%
5	特にない	4,504	18.7%
6	その他	187	0.8%
	合計	24,023	

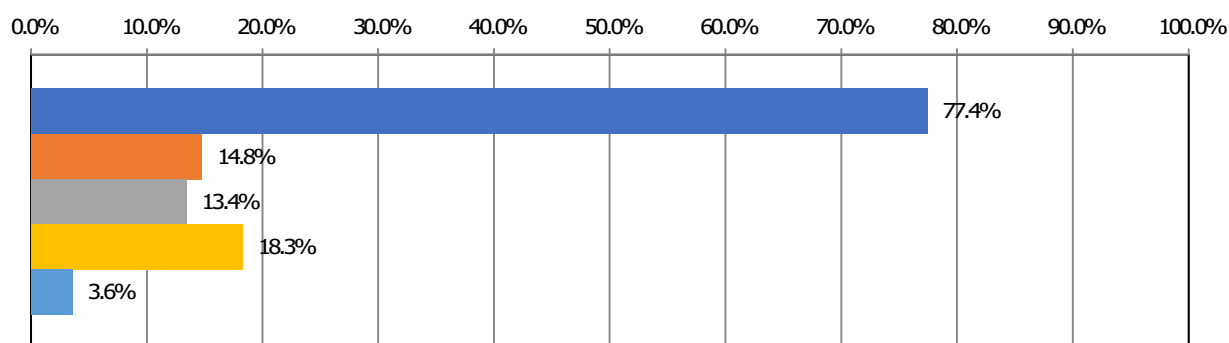
共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手することが可能ですか。
(1つ選択)



■ 不可能だ ■ かなり難しい ■ 難しいが手に入る ■ 手に入る

No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	不可能だ	19,262	80.2%
2	かなり難しい	2,926	12.2%
3	難しいが手に入る	1,396	5.8%
4	手に入る	439	1.8%
5	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

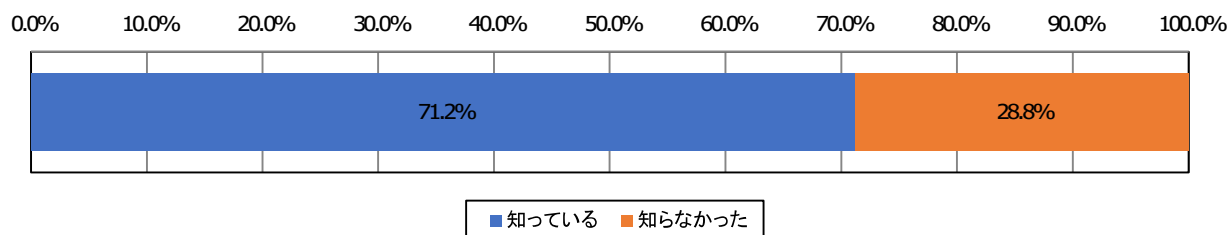
【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】
共通質問19(イ) 入手可能と考えた理由はなんですか。
(複数選択可)



■ SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから
■ SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから
■ 友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから
■ 繁華街などの街中等で販売されているのを見聞きしたことがあるから
■ それ以外

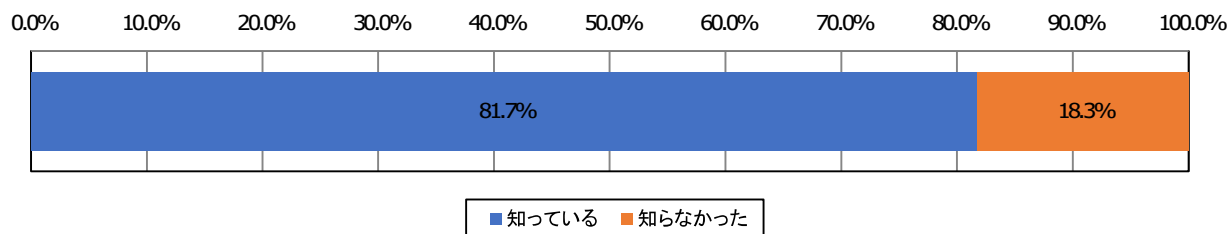
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	1,421	77.4%
2	SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	271	14.8%
3	友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	246	13.4%
4	繁華街などの街中等で販売されているのを見聞きしたことがあるから	335	18.3%
5	それ以外	66	3.6%
	合計	1,835	

共通質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品（脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど）の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。
(1つ選択)



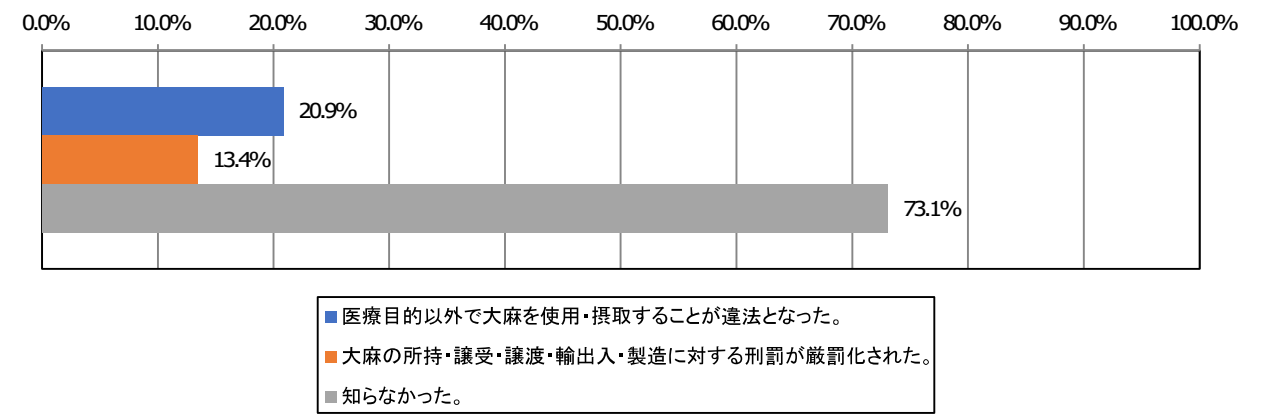
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	知っている	17,113	71.2%
2	知らなかった	6,910	28.8%
3	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問21 あなたは、「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」が社会問題になっていることを知っていますか。
(1つ選択)
「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」とは、市販薬（かぜ薬・解熱剤・鎮痛剤・睡眠薬など）を定められた用法・用量以上に服用する（過剰摂取する）ことで、薬物への依存が高まるだけでなく、内臓機能障害や最悪の場合は心肺停止で死亡するケースもある、薬物乱用の一種です。



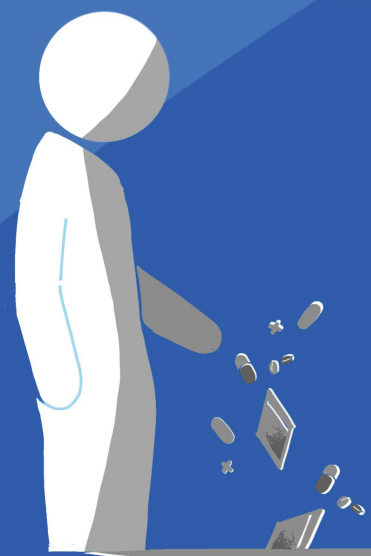
No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	知っている	19,633	81.7%
2	知らなかった	4,390	18.3%
3	不明	0	0.0%
	合計	24,023	100.0%

共通質問22 2023年12月に「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」が成立し、2024年12月12日にその一部が施行されていますが、あなたはこの施行内容について知っていますか？
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	医療目的以外で大麻を使用・摂取することが違法となった。	5,009	20.9%
2	大麻の所持・譲受・譲渡・輸出入・製造に対する刑罰が厳罰化された。	3,222	13.4%
3	知らなかった。	17,560	73.1%
	合計	24,023	

きみの未来、
薬物で曇らせない。



薬物はあなたの
身体と心を蝕みます。

NO DRUG!

関西四大学薬物乱用防止啓発企画

制作：立命館大学美術研究部

-主催-



-後援-



一人で悩まず相談を！(各府県相談窓口)